

1 事業総括

平成28年度より受託した江東区の事業である。生活保護受給者及び生活困窮者のうち、直ちに一般就労に就くことが難しい方に対し、きめ細やかな支援を提供し、就労意欲を喚起することが事業内容となっている。更生施設塩崎荘内に事業拠点として「江東区就労支援センター」を設置し、各種プログラムを実施した。

〔年間実績〕

	支援ケース（人）	プログラム等実施（回）		
		セミナー等 開催	就労体験、 所内作業等	ボランティア 活動等
平成28年度	73	380	272	132

2 主要目標に対する成果

（1）委託元及びブロック施設の塩崎荘との連携を密に行い、安定した事業を運営する。

委託元とは定期連絡会を月1回程度開催。塩崎荘とは毎朝の申し送りや毎月の職員会議等で連携を密に行い、年間を通じて安定した事業運営ができた。

（2）対象者との信頼関係を重視したインターク・アセスメント面接を実施し、質の高い支援計画を策定する。

対象者それぞれの特性を踏まえたアセスメントを行うとともに、プログラム等にも対象者と参加し、毎月の評価で支援内容を振り返ることにより対象者との信頼関係を高めることができた。

（3）塩崎荘の機能を活用したセミナー・就労体験等のプログラムを実施する。

塩崎荘の専門職員と連携した健康セミナーやビジネスマナーセミナーを開催することで、専門性の高いセミナーが実施できた。また、施設建物や敷地を活用した清掃技能セミナーや農業体験を行うことで、就労意欲を高めるプログラムを実施することができた。

（4）対象者との関係性に配慮しつつ、車両を活用して積極的なアウトリーチを行う。

プログラムに参加しなくなったり、生活に不安のある対象者の自宅へ車両を活用することで速やかに訪問した。変化しやすい生活状況を適宜把握し、福祉事務所とこまめに情報共有を図った。

（5）地域の社会資源の情報を江東区生活自立支援事業と共有し、連携体制を構築する。

双方の事業を利用しているケースについて情報共有をし、連携体制を図った。江東区生活自立支援事業から就労準備支援事業に引き継いだケースもあった。

3 運営管理

（1）プログラム等の実施

① セミナー（ビジネスマナーセミナー等326回実施、延べ667人参加。自己分析セミナー27回実施、延べ80人参加。健康セミナー27回実施、延べ85人参加）、②所内作業体験（259回実施、延べ911人参加）、③所外の就労体験・職場見学（13回実施、延べ48人参加）など、利用開始時から着実にプログラム回数と種類を増やしてきた。

（2）個別支援

① 就労体験の受け入れが可能な協力企業を開拓し、職場で実体験することで仕事への実感を高めることができた。（8件）

② 支援計画に沿って、面接（538回）、電話相談（317回）、アウトリーチ（37回）等を行い、それぞれの利用者に応じた個別支援を行った。

（3）記録の作成と管理

① アセスメントシート、ケース記録、業務日誌、月毎の報告書等について、委託元及び事業団の個人情報管理規定に沿って管理しながら、迅速に作成報告した。

（4）福祉事務所との連携

① ケースワーカー等の福祉事務所関係職員と連携をとり情報共有しながら業務を進めた。

② 毎月、就労支援センター通信を発行し、事業内容周知と利用促進に努めた。

（5）業務の効率化と安全管理

① 支援員間でスケジュールを確認し、効率的な業務運営を行った。

② 朝礼等で利用者への対応等の情報共有をし、安全な業務運営に努めた。

